

2025 年 10 月 28 日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**GSユアサの宇宙用リチウムイオン電池が  
新型宇宙ステーション補給機 1 号機（HTV-X 1）に搭載**

GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー（社長：並河 芳昭、本社：京都府福知山市。以下、GYT）製の宇宙用リチウムイオン電池が、新型宇宙ステーション補給機 1 号機（以下、HTV-X1）に搭載されています。

HTV-X1 は 2025 年 10 月 26 日に、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（理事長：山川 宏、本社：東京都調布市。以下、JAXA）の種子島宇宙センターから打ち上げられ、最長 6 カ月間、国際宇宙ステーション（以下、ISS）に係留し、輸送カーゴの搬入や廃棄カーゴの積み込みを行います。

その後、ISS から離脱して最長 1.5 年間の軌道上飛行を続け、さまざまな技術実証ミッションを実施します※<sup>1</sup>。

その中で HTV-X1 に搭載された電池は、機体が地球の影に入り日照が得られない区間において、電力を供給する役割を担います。

**【写真】**

1. HTV-X（提供：JAXA）



2. 宇宙用リチウムイオン電池（セル）



GYT 製の宇宙用リチウムイオン電池※<sup>2</sup>は 2000 年代初頭に軌道上での宇宙実証が行われて以降、これまでに国内外の 250 機以上の宇宙機に搭載されてきました。その実績と、高真空の宇宙空間で長期間の運用に耐えうる性能が評価され、HTV-X1 の先代機となる HTV の初号機から、サービスモジュール開発を担当されている三菱電機株式会社（執行役社長：漆間 啓、本社：東京都千代田区）に採用されています。

GYT は特殊用途の電池や電源を開発・製造販売しており、海・陸・空（6,500m の深海から、上空 36,000km の宇宙空間まで）の特殊環境フィールドで、高性能かつ高品質な電池をお届けしています。今後も高性能リチウムイオン電池の開発・製造を通じて、宇宙開発事業へ貢献してまいります。

※1 HTV-X1 の機能や役割、技術実証ミッションについては、JAXA のウェブサイトを参照ください。

<https://humans-in-space.jaxa.jp/htv/mission/htv-x1/>

※2 JAXA から委託を受けて開発し、JAXA コンポーネント（JAXA 研究開発部門が人工衛星に共通に使用される搭載コンポーネントやデバイスを開発し、JAXA データベースに登録・開示する制度）に登録されている高性能宇宙用リチウムイオン電池です。詳しくは JAXA ウェブサイトを参照ください。

<https://www.kenkai.jaxa.jp/library/database/db-compindex.html>

---

[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03-5402-5867

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 G S ユアサ コーポレートコミュニケーション部 TEL 075-312-1214